

## 今週は15日の米消費者物価が焦点、下振れなら米利下げ期待の回復も

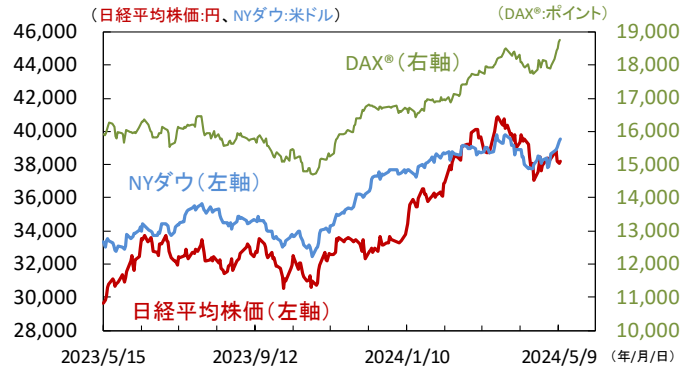
## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	5月10日	5月9日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,229.11	38,073.98	155.13
	- CME日経平均先物(円)	38,195.00	38,435.00	-240.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,728.21	2,713.46	14.75
	参考) 東証REIT指数	1,806.57	1,821.68	-15.11
米国	NYダウ(米ドル)	39,512.84	39,387.76	125.09
	S&P500	5,222.68	5,214.08	8.59
	- S&P500配当貴族指数	4,500.91	4,486.10	14.81
	ナスダック総合指数	16,340.87	16,346.27	-5.40
ドイツ	DAX®指数	18,772.85	18,686.60	86.25
英国	FTSE100指数	8,433.76	8,381.35	52.41
豪州	S&P/ASX200指数	7,749.00	7,721.60	27.40
中国	上海総合指数	3,154.55	3,154.32	0.23
香港	ハンセン指数	18,963.68	18,537.81	425.87
インド	S&P BSE SENSEX指数	72,664.47	72,404.17	260.30
ブラジル	ボベスパ指数	127,599.57	128,188.34	-588.77
先進国	MSCI WORLD	3,419.92	3,411.11	8.81
新興国	MSCI EM	1,071.64	1,063.52	8.12
商品	(単位:米ドル)	5月10日	5月9日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	78.26	79.26	-1.00
金	COMEX先物(期近物)	2,375.00	2,340.30	34.70
10年国債利回り	(単位:%)	5月10日	5月9日	前日差
日本		0.912	0.908	0.004
米国		4.500	4.459	0.041
ドイツ		2.520	2.498	0.022
オーストラリア		4.333	4.374	-0.041
為替(対円)	(単位:円)	5月10日	5月9日	前日比%
米ドル		155.72	155.46	0.17
ユーロ		167.75	167.62	0.08
英ポンド		194.98	194.67	0.16
カナダドル		113.88	113.65	0.20
オーストラリア(豪)ドル		102.79	102.90	▲0.11
NZ(ニュージーランド)ドル		93.73	93.80	▲0.07
シンガポールドル		114.96	114.91	0.04
中国人民元		21.546	21.523	0.11
インドルピー		1.8638	1.8627	0.06
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9702	0.9686	0.17
メキシコペソ		9.269	9.254	0.17
ブラジルリアル		30.183	30.232	▲0.16
トルコリラ		4.814	4.818	▲0.10

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。  
MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。  
WTI (West Texas Intermediate) 原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) で取引される米国の代表的な原油先物。  
COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。  
表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。  
前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。  
本資料は、作成時点でRefinitivにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Refinitivにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

## 主要国株式の動き



注) 直近値は2024年5月10日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## ◆マーケットの動き:

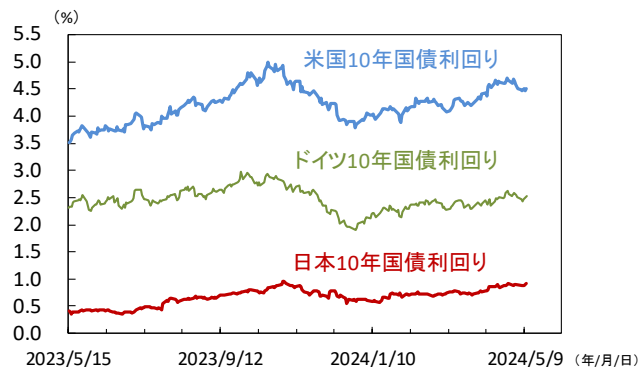
- 日経平均は反発。前日の米株高を受けて朝方より上昇。上げ幅は一時660円を超過しその後縮小。金利低下から不動産株、原油価格格伸から資源関連株が堅調。
- S&P500は小幅続伸。朝方に上昇したもののその後は上値の重い展開。米消費者信頼感の低下や期待インフレ率の上昇、タカ派的な政策当局者発言などを意識。
- 米ミシガン大学消費者信頼感指数は(5月)は67.4(4月77.2)と6カ月ぶりの水準へ低下。耐久財の購入意欲が12カ月ぶりの水準へ低下。期待インフレ率は1年後が+3.5%(同+3.2%)、5-10年後が+3.1%(同+3.0%)へ上昇。
- 米10年国債利回りは上昇。ボウマン米FRB理事は、今年に入ってインフレの根強さを示す指標が相次いでおり、年内の利下げ開始が適切とは思わないと発言。
- 米ドルは対円・ユーロで小幅上昇。WTI原油先物は反落。アジア時間に1バレル79.96ドルまで上昇した後、軟調な米消費者信頼感等を意識し米国時間に下落。

## ◆今週の注目点:

## 米消費者物価、米当局者発言、中国景気指標

今週は15日の米消費者物価(4月)が焦点。1-3月の同物価上振れは米利下げ期待を後退させ米金利と米ドルを押し上げたが、足元では雇用や景況感指数が軟化。同物価下振れならドル高一巡も。15日の米小売売上高(4月)や14日のパウエル米FRB議長等当局者発言も要注視。中国は17日に4月の主要景気指標(生産・小売・投資)を公表。住宅不況下でも堅調な製造業投資とインフラ投資や、輸出回復による生産の改善等を確認か。(入村)

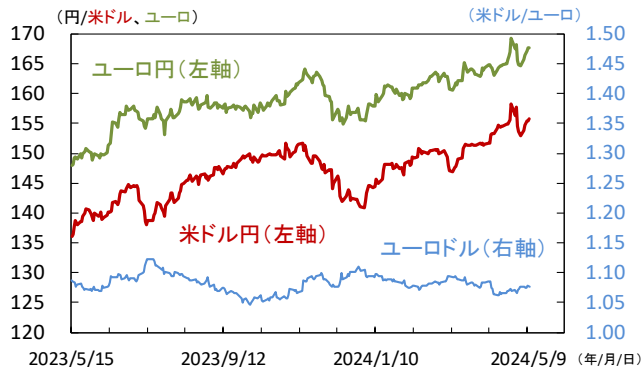
## 主要国金利の動き



注) 直近値は2024年5月10日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## 主要通貨の動き



注) 直近値は2024年5月10日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

## 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。  
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。  
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。  
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会